

介護・福祉関係施設・在宅等領域 医療安全に関する情報収集結果報告

実施日：平成29年10月

回答：県内の介護・福祉関係 193施設（看護の代表の方に記入を依頼した）

内容：医療安全に関する情報収集

【集計結果】

回収：97施設（50.20%）

回答の結果：看護師配置の人数で分類し、情報を整理した。

問1. 看護師又は准看護師の人数（以下設問ごとにAからD群で集約）

	看護師数	准看護師数	施設数
A群	0～2	1～4	20
B群	3～5	0～9	44
C群	6～10	0～8	25
D群	11～40	3～18	7+無回答1

問2. 医療安全管理に携わる人員配置について（施設数）

1) 医療安全管理者の配置：62施設（63.91%）が配置ありと回答

	配置あり	配置なし	無回答
A群	10	9	1
B群	31	13	
C群	16	9	
D群	5	2	1
合計	62（63.91%）	33（34.02%）	2

2) 医療安全管理者の職種について（複数回答）

	医師	看護師	その他
A群	4	6	介護士・施設長
B群	7	11	施設長・苑長
C群	8	10	
D群	2	2	社会福祉士・事務長薬剤師・管理栄養士・検査技師・理学療法士・事務員

3) 医療安全管理者配置がない理由

A群	<ul style="list-style-type: none"> 施設長から配置義務について話されていない（2） 委員会を設けているため 少数の看護師のため
B群	<ul style="list-style-type: none"> 事故防止対策委員会・痰吸引等安全対策委員会がある。 特養なので配置基準がない。 施設全体の「安全対策管理」はある。 特別配置していない 研修を受講した人がいない 知らなかった 特に問題ない 安全対策委員会はあるが、医療安全管理者はいない
C群	<ul style="list-style-type: none"> 管理者として登録していないが、施設長と考えている 看護師長が兼務している 委員会として活動している。リスクマネージャーの資格なし
D群	<ul style="list-style-type: none"> 看護師に医療安全の取り組みは行っているが、管理者として配置ができていない 医療安全に関する専任者で配置していない

問3. 1) 医療安全に関連した委員会（施設数）

	委員会あり	委員会なし	無回答
A群	10	10	0
B群	34	10	0
C群	20	4	1
D群	8	0	0
合計	72 (74.22%)	24 (24.74%)	1

2) 委員会なしと回答した24施設で、医療安全に関連した「係り」について

	係りあり	係りなし	無回答
A群	4	5	1
B群	5	5	0
C群	3	1	0
D群	0	0	0
合計	12	11	1

問4. 1) 医療安全対策マニュアルについて（施設数）

	マニュアルあり	マニュアルなし	無回答
A群	10	10	0
B群	36	8	0
C群	21	4	0
D群	8	0	0
合計	75 (77.31%)	22 (22.68%)	0

2) 医療安全マニュアルの内容について（複数回答）

	患者誤認防止手順	指示出しから実施確認までの手順	安全な手技実施についての手順	薬剤の安全使用に関する手順	ハイリスクな診療行為における観察の手順	リスクアセスメントと事前対策に関する手順	医療事故発生時の対応手順	その他
A群	3	3	3	5	2	2	8	0
B群	16	12	21	27	7	9	28	4
C群	11	11	14	17	5	11	18	1
D群	2	3	6	4	3	5	7	1
合計	32	29	44	53	17	27	61	6

その他の内容

規定

身体拘束廃止手順、

褥瘡対策

誤飲、誤嚥マニュアル

感染症及び食中毒の予防、蔓延防止のための手順

清潔衛生管理

3) マニュアルの見直し・改訂 (マニュアルあり 75施設)

	見直し・改訂あり	見直し・改訂なし	無回答
A群	7	3	0
B群	29	7	0
C群	14	7	0
D群	5	3	0
合計	55 (73.33%)	20 (26.66%)	0

問5. 1) インシデント・アクシデント事例の把握

	把握あり	把握なし	無回答
A群	18	0	2
B群	44	0	0
C群	22	0	3
D群	8	0	0
合計	92 (94.84%)	0	5

2) 事例把握の方法

【報告について】

報告書やレポートの提出、ヒヤリハットノート活用、
申し送り時に口頭報告、日誌に記載

【周知・検討について】

事例ごとや、月毎の報告書を回覧
委員会、ミーティングを開催
パソコンで件数や内容を確認

3) 事例の分析について (事例把握あり 92施設)

	分析あり	分析なし
A群	18	0
B群	41	3
C群	20	2
D群	8	0
合計	87 (94.56%)	5 (5.43%)

4) 事例分析に関わる職種 (複数回答)

	看護師	介護士	その他
A群	3	3	ケアマネ・施設長・相談員・栄養士・理学療法士・事務・機能訓練士・医師・全職種
B群	27	23	ケアマネ・施設長・相談員・栄養士・理学療法士・事務・医師・機能訓練士
C群	14	12	医師・理学療法士・相談員・管理栄養士・清掃員・事務
D群	6	3	社会福祉士・リハビリ・栄養士・歯科衛生士・相談員・ケアマネ

問6. 1) 職員の研修・教育体制の実施について

	実施あり	実施なし	無回答
A群	9	11	0
B群	30	14	0
C群	19	6	0
D群	8	0	0
合計	66 (68.04%)	31 (31.95%)	0

2) 研修・教育体制あり 66施設

	年2回	年1回	その他	無回答
A群	4	4	1	0
B群	15	14	0	1
C群	9	10	0	0
D群	7	1	0	0
合計	35 (53.03%)	29 (43.93%)	1	1

3) 職員研修・教育体制がないが、施設外の研修参加について (31施設)

	はい	いいえ	無回答
A群	7	3	1
B群	5	8	1
C群	4	2	0
D群	0	0	0
合計	16 (51.61%)	13 (41.93%)	2

問7. 1) 平成29年度看護協会への研修参加について

	チームで行う医療安全対策 (5/29)	1人ひとりが取り組む感染防止対策 (5/30)	医療安全管理者養成研修 (7~10月)
A群	0	1	0
B群	1	3	1
C群	3	5	5
D群	2	2	0
合計	6	11	6

2) 研修について意見

【研修内容】

- ・施設用の医療安全・感染対策を行ってほしい（病院対象だとコスト的に出来ない事も多く、最低限施設に必要な事を教えてほしい）（3件）
- ・施設対象とした研修をもう少し多く開催してほしい

【研修費】

- ・施設だと協会員が少なく会員でないと研修費が高い

【医療安全管理者養成研修について】

- ・eラーニングは受講してみても大変勉強になった。しかし、勤務中に見ている時間がないので、本人の意欲に任せることとなり、すすめるににくい。研修したことを実際に活用していくことも老健では難しいと考えます。
- ・次年度も予定されるのか知りたいと考えている。

【その他】

- ・老健協会、社協などが開催する研修会に多く優先的に参加しているため看護協会の研修は参加しないことが多い（費用負担の問題あり）
- ・予定されている研修内容を把握していない。看護協会に入会していない事もあり、把握できにくい。

- ・出席しやすい管内で行われている感染防止研修へは参加している。今後も参加できるものは参加していきたいと思っている。
- ・業務に追われ研修参加のシフト調整困難だが年1回程度参加したい。

問8. その他（自由記載からまとめ）

【意見】

- ・今後施設において医療安全管理者は必要になってくるのか知りたい
- ・資料だけでも取り寄せることが出来たらと思うが、どこへ尋ねたらよいのか分からない

【困っていること】

- ・認知症で車イス・歩行器など補助具を使用している。利用者の転倒・転落を防止する対策について困っている
- ・内出血の発見のインシデント報告が多い
- ・慢性的な人手不足で研修に出せる余裕がない。(身体的・心理的) 必要だと思っているが。

【その他】

- ・特養なので医療行為は、経管栄養、吸痰、インシュリン注射と限られている。
- ・施設で「医療安全」と言われピンとくるものがなく悩みました。薬剤を使用する注射類・器具類がない特養ではあえていうなら吸引でしょうか。法律に伴い、介護職の吸引は咽頭手前まで。夜間は看護師不在と言う中で、気管内吸引を要するほどのお客様を安全に過ごすために施設の対応・家族とのコミュニケーション力が重要になっている。